団結・果敢・躍動

くまもと

発行　九州旅客鉄道労働組合
熊本地方本部
熊本市中央区南熊本3丁目14番1号
電話　NTT　096 - 373 - 8911

発行責任者　濵 田 享 二
編集責任者　横 林 大 地
教育広報部

総対話集会128名が参加

10月2日から6日の日程で、「くまもと森都心プラザ」等の会場において総対話集会を開催しました。吉田委員長をはじめとした中央本部執行部の方々にお越しいただき、各種議題における取組等について提起され、4日間の開催期間で128名の組合員に参加を頂きました。

各種議題について提起を行う

今年度の総対話集会では、労働条件改善に向けた取り組み、当面する課題への取組、そして熊本地本からの提起という内容にて開催した。

鎗光中央執行副委員長による議題説明

●人事賃金制度の改正

労働条件改善に向けた取り組みでは、8月に集約を行った人事・賃金制度の改正について、現行の賃金制度に対して課題としていた点や、新制度における変更点の再確認を行った。

JR九州労組が掲げる中期労働政策ビジョン「チャレンジ2023」が改訂時期を迎えていることから、今回の制度改正で改善した内容や課題等を踏まえ、新たな中期労働ビジョンの策定に取り組んでいくと提起された。

●2023年度労働協約改訂

労働協約改定の取り組みについては、「そもそも労働協約とは?」という点から説明を頂いたことで、参加者されている組合員の皆さまと同じように地本役員のスキルアップにつなげることができた。

今回の労働協約改定交渉では、9項目（先行した特急通勤要件緩和も踏まえると10項目）の改善を勝ち取っている。

特に大きなポイントとして、これまで私たちが課題として粘り強く声を挙げ続けてきた「住宅援助金の給付対象者（地域社員）の拡大」や、同じように集会等で声を頂いていた賃貸住宅における違約金についても「賃貸住宅解約援助金の新設」といった大きな風穴を開けることにも成功している。

●当面する課題

当面する課題として、「2023年度年末手当」については、業務速報で報じられているように基準内賃金の3.0ヶ月分を要求しており、今後の中央本部における交渉の後押しを熊本地本一丸となって取り組んでいく。「会社施策等への対応」については、情報も限られていることから、地本と密に連帯し対応していくことを確認した。

●熊本地本からの提起

熊本地本からは、今月及び来月が「福利厚生推進」における**第一次加入促進期間**であることから、「マイカー共済（こくみん共済coop）」、「あんしん切符（明治安田生命）」について提起を行った。

提起後に、参加した組合員の皆さまと意見交換会を行い、職場における問題点などについてご意見を頂いた。頂いたご意見については解決に向け取り組んでいく。

年末手当の情報は LINE@で！

JR九州労組
公式アカウント
ＩＤ
@yqw2478t

2023年度賃金実態調査（10/20）

提出数：362名
提出率：92%

組合員の皆さま、ご協力ありがとうございました！提出を頂きましたデータは、今後の交渉において活用されていきます！